



中学3年生対象 「あしなが育英会奨学金」 高校奨学生予約募集のお知らせ

あしなが育英会は、保護者などが病気や災害(道路における交通事故を除く)、自死などで死亡、またはそれらが原因で著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の子どもたちに奨学金を貸与して、進学援助を行っております。設立以来26年間に37,000人の遺児を高校・高専、大学、大学院、専修・各種学校に進学させています。

あしなが育英会が昨年高校奨学生の保護者を対象とした調査では、「教育費不足」67%、高校卒業後に就職希望の理由「経済的理由で進学断念」が53%で急増しています。高校進学率が97%を超え、ほとんどの中学生が高校に進学し、大学へも2人に1人以上が進学する時代に、経済的な理由により高校や大学教育を受ける機会を失うことは、社会や国にとって、将来の「公財」を失う事になるとともに、遺児家庭にとって「貧困の連鎖」を断ち切るために、遺児が教育を受けて社会に巣立つことが必要です。該当する生徒がいましたら、各学級担任の先生かもしくは進路担当まで申し出てください。

校内申し込み締め切り

2014年5月30日(金曜日)



平成26年度校内推薦基準

1. 推薦の方針

- (1) 心身ともに健康で、何事にも真面目に粘り強く努力し、他の生徒の模範となる生徒を推薦する。
- (2) 原則として下記の校内推薦基準(1)～(8)を全て満たし、高校生活をまじめに送れる生徒を推薦する。
- (3) 推薦委員会(校長、教頭、3学年職員、他学年の関係する職員)で推薦者を選考し、最終的に学校長が決定する。
- (4) 推薦合格内定後も校内推薦基準に違反する行為があれば、推薦を取り消す場合もある。

2. 校内推薦基準

- (1) 志望高校・志望学科に対する目的意識が明確で、ぜひ学びたいという積極的な意欲が感じられる者。
 - (2) 県の出願資格・出願要件を満たすこと。
 - (3) 志望高校・志望学科の推薦基準を満たすこと。
 - (4) 生活態度が良好で、学校内外において決まりを良く守っていること。
 - ① 出席状況が良好である者
 - ア 3年間、無届けの欠席・欠課・早退がないこと。
 - イ 朝の遅刻が3年間を通して多くても5回程度、欠席は3年間を通して多くても9日程度とする。
 ただし、通院や入院等特別の事情がある場合は考慮する。
 - ② 服装・生活態度が良好である者
 - 服装、身なり、頭髪、持ち物など規範・ルールを守り、生活態度が良好であること。
 - ③ 授業態度が良好である者。
 - (私語や居眠りがないこと、忘れ物が無く課題もきちんと提出していること)
 - ④ 当番・係活動、学級・生徒会活動等の特別活動にも積極的に参加している者。
 - ⑤ 推薦合格内定後はその高等学校の入学を確約し、その他の高等学校への受験はしない者。
 - ⑥ 推薦合格内定後も忍耐強く頑張り、周りへの配慮ができる者。
3. 推薦申し込みをするに当たっての注意事項
- (1) 推薦申請書は、自分で書くこと。
 - (2) 「自己表現」の場合は、実績を証明する資料の写し(A4版)が必要であり、実績のレベルが適切かどうか考えること。
 - (3) 「個性表現」の場合は、自己を表現する具体的方法を考えること。